

「東の天明・西の芦屋」時代を超えた

青少年交流事業

室町時代「東の天明^{てんみょう}、西の芦屋^{ふしや}」と呼ばれ、一世を風靡^{めいふ}した「芦屋釜」と「天明釜」。この二大名釜のひとつ、天明釜のふるさとである栃木県佐野市との青少年交流事業が、今年で32年目を迎えました。今年は、佐野市の小中学生16人が芦屋町を訪れ、芦屋町の小中学生14人とともに、「こどもサミット」や「海あそび」、「鋳物印鑑づくり」などで交流を深めました。



栃木県佐野市との青少年交流事業 in 芦屋町（8月3日～5日）

こどもサミット

芦屋中学校1年 内田美羽



互いの市町の魅力を紹介！

自分で調べた芦屋の観光スポットを伝えました。佐野の子のメモに観光スポットのことが書かれて、ちょっとうれしかったです。佐野のことについて記おくに一番残っているのは、黒からあげです。こがしているのではない事にすこしびっくりしました。佐野に行ったら食べたいです。

塩づくり体験

芦屋中学校1年 藤堂堇花^{すみれ}



焦がさないようにしっかり混ぜて

まず先生から、塩づくりについての説明を聞きました。次に、鍋

に海水を入れてひたすら混ぜました。佐野市の方が混ぜるのがとても上手かったです。塩を作った後に実際にできた塩をなめてみました。とても美味しかったです。

海あそび

芦屋中学校2年 岡田陽葵^{ひまり}



バランスをとるのが難しい！

最初にシュノーケリングをしました。魚などを見つけることができませんでした。佐野市の人の中でつけることができた子もいたそうです。次に、ボードあそびをして遊びました。ボードに乗るのは簡単でしたが、立ち上がるのは不安定で難しかったです。

鋳物印鑑づくり

芦屋東小学校6年 村山美織奈^{みりな}
「美」の印かんを作りました。一番心に残った作業は、木の板に



世界に一つのオリジナル印鑑！

字を書いてはる作業と熱して溶かした金属を型に入れて固めた作業です。大変だったけど、楽しかったです。作った印かんは、年賀状やはがきに使いたと思います。

3日間の感想

山鹿小学校6年 手嶋紗雪



とても楽しい3日間でした！

私の目標は、自分から積極的にいろいろな人に話すことです。この3日間、みんなの顔と名前を覚えて、名前で呼べるように頑張りました。これからも、佐野市の人と手紙や電話でやりとりをして、交流を続けていきたいです。

芦屋町 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化などが進む地方で、地域外の人を受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その地域への定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

▷問い合わせ シティプロモーション係 (☎223-3571)

りょうしよ ひろえ
料所 宏会 (4号) [遠賀町出身]



Instagram

芦屋町地域おこし協力隊 4号です。少し早いですが芦屋町地域おこし協力隊の卒業が決まりました。町民の皆さま、本当にありがとうございました！

●芦屋町地域おこし協力隊 4号になって

芦屋町地域おこし協力隊に着任したのがつい先日なのですが、いつの間にか3年目を迎えていました。地域おこし協力隊の任期である3年間で、芦屋町のためにどんな情報発信ができるかたくさん考えました。

1年目は町内の風景、2年目は町内の出来事、3年目は移住・定住に役立つ情報に力を入れて発信していました。まだまだしたいことが多くあり、このタイミングで卒業してしまうことが残念です。

活動をしている中で、だんだんと人の輪が広がっていき、町内のさまざまなものを見に行かせていただきました。「取材に行ってもいいですか？」と突然電話しているにも関わらず、いつも快く受け入れてくださった皆さん、本当にありがとうございました。仕事でもプライベートでも本当に多くの方にお世話になりました。皆さんの優しさに支えられ、芦屋町地域おこし協力隊 4号として、とても楽しく活動することができました。活動中にお世話になった皆さんには直接ごあいさつできなかった人も多く、この場を借りてご報告と感謝の気持ちをお伝えできればと思います。

多くの町民さんとの関わりの中で、笑い、悩み、学び、充実した毎日でした。たくさんの励ましや助言をくださり、本当にありがとうございました！ここでの出会いや時間は、間違いなく自分の財産です。今後どこかでふとお会いできたり、何かの形でまたご一緒できたりすることがあればうれしいです。改めて、本当にありがとうございました！！

芦屋町の大ファン 4号より

